

私立大学図書館協会 2025 年度第 2 回東地区部会役員会  
議事要録

日 時 : 2026 年 1 月 23 日 (金) 14 : 00 ~ 15 : 30

方 法 : Web 会議 (中央大学)

出席校 : 部会長校 中央大学 (三浦、大谷、高杉、工藤、渡来、西澤)  
研究部担当理事校 大正大学 (古川、畑中、丸山)  
研修・会報担当理事校 大東文化大学 (平山)  
地区ブロック選出理事校 八戸工業大学 (谷津)  
監事校 明治学院大学 (渡辺、鈴木)  
陪 席 : 会長校 関西学院大学 (服部)

※敬称略

配付資料 :

- ・私立大学図書館協会 2025 年度第 2 回東地区部会役員会資料 (以下「役員会資料」と記載)
- ・資料1 2025年度第2回常任幹事会資料
- ・資料2 私立大学図書館協会東地区歴代役員校一覧
- ・資料3 2026年度東地区部会管理職研修企画書 (案)
- ・資料4 2025年度第2回常任幹事会議事要録抜粋
- ・資料5 私立大学図書館協会東地区部会向け「Microsoft365」に関するご報告

議事に先立ち、中央大学図書館三浦館長より挨拶があり、続いて出席者の確認が行われた。議事進行は、部会長校中央大学図書館の渡来が担当した。

議事 :

[報告事項]

1. 東地区部会関係

- ・2025 年度東地区部会会務報告 (2025 年 4 月 ~ 12 月)  
部会長校中央大学より、役員会資料 (P. 3-5) に基づき報告があった。
- ・2025 年度東地区部会研究部活動報告 (2025 年 4 月 ~ 2026 年 1 月)  
研究部担当理事校大正大学より、役員会資料 (P. 5-8) に基づき報告があった。

2. 協会関係

2025 年度第 2 回常任幹事会報告

会長校関西学院大学より、2025 年 12 月 5 日 (金) に開催された第 2 回常任幹事会については、資料 1 および当日の訂正や意見を取りまとめた協会ホームページの議事要録で確認いただきたい旨の説明があった。

[協議事項]

1. 2025 年度東地区部会事業報告

部会長校中央大学および研究部担当理事校大正大学より、役員会資料（P.9-10）に基づき事業報告があり、承認された。

部会長校中央大学からは、東地区部会の総会、各種会議・委員会、研修会等のイベントはメール会議やオンライン形式で実施しており、東地区部会活動の持続的な運営および参加にあたり有効であることから、今後も継続するとの報告があった。研究部担当理事校大正大学からは、実施した研修事業（研修名、参加人数、備考（図書館総合展（パシフィコ横浜）を見学等）をまとめた一覧表の説明、研究部の運営において 2023 年度から導入している Microsoft365 の担当理事校変更時に契約業者との認識にずれが生じ、一部データの消失及び一定期間の利用を停止することになったことの報告があった。

2. 2025 年度東地区部会中間決算報告

部会長校中央大学より、役員会資料（P.11）に基づき中間決算報告があり、承認された。

〈収入の部〉

- ・協会交付金：2025 年度加盟校数 268 校から算出。
- ・預金利息：予算額とほぼ同額。

〈支出の部〉

- ・部会総会費：館長会講師謝礼のみ計上。
- ・管理職研修費：任期 2 年目（2026 年度）のみ。
- ・研究部交付金：予算額どおりに研究部に交付。

3. 2025 年度東地区部会研究部中間決算報告

研究部担当理事校大正大学より、役員会資料（p.12）に基づき中間決算報告があり、承認された。

〈収入の部〉

- ・部会交付金は、予算額通り（4,118,500 円）の計上。
- ・預金利息は金利上昇により予算額よりも多い。

〈支出の部〉

- ・研修報告大会開催費、研修事業委託費の支払いを今後計上。

4. 2026 年度東地区部会事業計画（案）および予算（案）

部会長校中央大学より、役員会資料（p.13-14）に基づき以下の説明があり、事業計画（案）、予算（案）ともに承認された。

【事業計画（案）】

- ・2025 年度に実施した事業を踏襲。
- ・任期二年目に実施する管理職研修は、10 月 2 日にオンライン開催の予定。
- ・4 月 17 日（金）に開催する第 1 回東地区部会役員会以降の会議には、次期部会長校の東洋大学

に出席を依頼する。

- ・第1回東地区部会役員会後に、次期役員校選考委員会を開催する。その会議には、今期役員校とともに、次期役員校が出席となる、次期会長校：立教大学、次期部会長校：東洋大学、次期研究部担当理事校：文教大学で、次期研修・会報担当理事校：獨協大学、次期地区ブロック選出理事校：群馬医療福祉大学に出席していただく。

**【予算（案）】**

＜収入の部＞

- ・協会交付金：2025年度脱退届出校2校分を減額。
- ・雑収入：預金利息は2025年度と同額。

＜支出の部＞

- ・管理職研修：2026年度は開催年度となるため、IAAL（大学図書館支援機構）との打合せの結果462,000円を計上。
- ・研究部交付金：研究部事業予算額を計上。

5. 2026年度研究部活動計画（案）および予算（案）

研究部担当理事校大正大学より、役員会資料（p.15-16）に基づき以下の説明があり、事業計画（案）、予算（案）ともに承認された（但し、研修報告会の実施経費については大幅な増額となっていることから、慎重に精査してほしい旨の意見が出され、引き続き研究部担当理事校で見直しを行うことにした）。

**【研究部活動計画（案）】**

- ・2026年度は、2025年度の活動に準じているが、各研修会実施の後開催している研修報告会を、オンライン開催ではなく研修コース毎に動画を作成して、協会ホームページに公開という形式に変更する予定である。
- ・オンデマンド研修は、2025年度に図書コースを実施したので、2026年度は雑誌コースのみを実施する。

**【予算（案）】**

＜収入の部＞

- ・研修報告大会実施費を増額していることから、部会交付金が5,284,000円となっている。

＜支出の部＞

- ・研修報告会において、各研修コースの報告を動画化するための予算を計上していることから増額となっている。

6. 2026年度東地区部会総会、館長会および研究講演会の開催（案）

部会長校中央大学より、役員会資料（p.17）に基づき以下の説明があり、承認された。

**【部会総会】**

2026年度の総会は、前年度同様e-mailとWeb入力フォームを活用した個別回答形式により実施予定。なお開催期間は一週間としていたが、協会の総会を二週間に変更する予定とのことから、東地区部会も同様に二週間に変更することとした。

### 【館長会】

6月5日にオンライン開催にて実施し、館長会の動画をオンデマンド配信の予定。講師は、県立長野図書館の森館長と信州大学渡邊先生に依頼し、中央大学で講演を行う予定。講師の事情により、講演料ではなく宿泊費、交通費での支払予定。

### 【研究講演会】

6月5日にオンライン開催にて実施し、研究科講演会の動画をオンデマンド配信の予定。講演テーマは未定。

## 7. 東地区部会役員校の選出について

部会長校中央大学より、資料2に基づき、新たに追加された役員校として、2033年度-2024年度の部会長校を明治大学に引き受けていただいたことの報告があった。

## 8. 2026年度東地区部会管理職研修（案）について

「研修委託業務（管理職対象）2024年度企画書（案）」

部会長校中央大学より、資料3に基づき、2026年10月2日（金）オンライン開催にて管理職研修（テーマ：「大学図書館の現状と課題 - 基本的な理解から課題解決の発見へ」（仮題））を実施する旨説明があり、承認された。内容について、4つの課題（1. 学生との連携 - 学生共同、学生参加型図書館の展開など、2. 人材育成の諸問題- 図書館の将来像と人材要件、大学人事との関わりなど、3. 電子化の進展と電子ジャーナルをめぐる諸問題 - 価格高騰への対応、利活用促進など、4. 学術情報流通をめぐる諸課題 - オープンアクセス、オープンサイエンスへの対応など、5. 大学図書館における生成AI- 図書館としての利活用、大学の方向性との関わりなど）を取り上げ、講演後グループディスカッションを行う予定との説明があった。講演の講師は、元ICU図書館長の嶋山氏に依頼し、引き受けていただいた。

### [懇談事項]

#### 1. 日本図書館協会代議員の選出について

部会長校中央大学より、資料3に基づき2025年12月5日（金）に開催された2025年度第2回常任幹事会における懇談事項 1. 日本図書館協会代議員選出について、会長校関西学院大学より報告のあった、日本図書館協会役員任期変更の要望の説明があった。

#### 2. 私立大学図書館協会東地区部会向け「Microsoft365」に関するご報告

研究部担当理事校大正大学が前任校の専修大学より引き継いだMicrosoft365の契約について、業者の不手際により一部のデータが消失し復旧が困難であるとの経緯説明があった。次年度の契約について研究部担当理事校大正大学からは、運営の理事校が変わっても影響が出ないように、代理店を通さずに直接Microsoftと契約する意向とのことであった。役員校からは、決済時の個人のクレジットカード払いによる手続、私立大学図書館協会東地区部会のドメインを取得しての契約等についてアドバイスがあったが、引き続きデータのバックアップ体制と来年度の契約方法について、研究部担当理事校大正大学に検討を依頼した。

3. その他  
特になし

以 上